

管内の百名山 「雨飾山」



雨飾山山頂から新潟県側登山ルートを望む



新潟県側の”秘湯”「都忘れの湯」

山頂は360度のパノラマが開けており、北アルプス、後立山連峰をはじめ、活火山の焼山や金山に通じる茂倉尾根の豊かな山容や、日本海の水平線を望むと、鋸岳、鬼ヶ面山、駒ヶ岳の連山が足元に広がるなど雄大な眺望を楽しむことができます。

上越森林管理署では、森林パトロールなどを通じ、雨飾山周辺における豊かな自然の保全や登山者へのマナー向上を呼びかけています。

「雨飾山（標高 1,963 ㍎）」は、上信越高原国立公園の西端に位置し、新潟県糸魚川市と長野県北安曇郡小谷村との県境に位置する頸城連峰の一つです。

雨飾山という名前の由来は、雨や天を祀る山である「アマ山」から来ているという説や、山頂が双耳峰なので雨飾山、雨粧山等と呼ばれていたが「雨」が「雨」になったという説があると言われています。

雨飾山には幾つかの登山道があり、両方の県から山頂を目指すことができ、登山口のどちらにも”秘湯”と言われる雨飾温泉（新潟県側）や小谷温泉（長野県側）があることもあって、人気の百名山の一つとなっています。

新潟県側からのルートは、雨飾山荘前にある露天風呂「都忘れの湯」のすぐ横から登山道が始まり、石畳の坂を登ると稜線の「難所のぞき」に出ます。そこからブナの林とナナカマド等の木々に囲まれた急な登りが、「一ぷく処」を経て「中ノ池」まで続きます。「中ノ池」からは急峻で浮き石が点在する登山道になり、徐々に登りが緩やかになってくると熊笹に覆われた「笹平」の分岐点が見えてきます。その分岐点を右方向に進むと山頂に到達します。



中ノ池から山頂に向かう急坂から日本海を望む